

辞令交付式における金森会長との懇談内容:平成22年4月6日(火)13:30~14:15

◎自己紹介

【山田】昨年度はアベック優勝。今年度も山形県に貢献できるよう頑張る。

【吉田】都道府県駅伝14位から24位へ。敗因は1区選手の変更と、高校生のレベルが低かったこと。小中学生を育ててふるさと選手として呼び込んでいかないと3・4位レベルは無理か。

【山口】チャレンジマッチではご心配をかけました。プレミアリーグ残留を懸けた試合は苦しい大会だった。今後は課題を解決しながら取り組みたい。今年度のテーマは地域に根ざしたチーム作り。

【池田】2012年ロンドン五輪に向けて精進中。結婚して環境が変わり、色々な視点を持てたこと。また、自分にはのびしろがあるのではないかと、やり残したことがあると思った点。ドリームキッズでオリンピックを目指す子どもたちと関わることによって、目標となる選手になりたい、夢を与えたいと感じたこと。ご支援に感謝。

【市川】技術員6年目、有難い。期待に応えられるよう頑張っていきたい。イタリアから新コーチが来て、3ヶ月悩みながらやってきたが、コーチを信じてやっていかなければ世界で勝てないと思ったので頑張る。

【矢口】今シーズンは思うように結果を残せなかった。夏場からバンクーバーを目指していたが、5・6位の壁を崩せなかった。だが、ドイツ遠征では良い経験ができた。ソチまで4年だが、実質2年半から3年。オフシーズンはオリンピックメンバーと練習させてもらったり、自分の殻を破る経験もできた。彼女たちを早く超えて恩返ししたい。

◎会長との懇談内容 <<会長>>

【矢口】<<青木選手頑張っているね>>青木先生を今シーズン超す予定だったが…

<<ロシア目指して頑張してほしい。夏場他のスポーツも良いと聞かすが…>>自転車をやっている。

【市川】<<世界の選手と比べて日本人の身長はどうか？>>やはり身長や手足が長い方が有利。

<<合宿について>>合宿は主にJISSで。現在のコーチは考え方が違うが、オリンピックで金メダルを取らせている実力者なので、今は新しいものを取り込んでいる最中。

<<ついて行くのは大変でしょうが、目標があるのだから頑張ってください。>>

【池田】<<池田さんはベテランですが、同じコーチの下で？>>種目によって異なり、エペはウクライナのコーチ。

【山口】<<おめでとうございます。モンテだけでは淋しいし、また是非頑張してほしい。>>

日本一が4回、勝つことが当たり前になっていた。ベテランと若手の間のコミュニケーションが上手くいっていなかったのが、最後の試合の前日のミーティングでベテランが奮起した。キャプテン佐々木をはじめに若手に適切な指示をして、試合当日は前日の失敗はなかった。若手への教育がコートで生かされることを感じた。

【吉田】<<21世紀協会で選手が1人増えたこと。熊坂選手について。>>

女子駅伝チーム2名に。熊坂は都道府県駅伝からずっと一緒に練習している。30才になるが、これまででベストと言えるほど調子が良い。高校生も1年生に良い選手が入ってきた。

【山田】<<バスケの活躍ありがとうございます。>>男子が頑張ってくれたのが嬉しい。体力が勝負なので、大会の最終日までしっかり体力を残せるようにしている。